



『環境技術実証事業』に関するフォローアップ調査

(実証申請企業向け調査)

環境省では、先進的環境技術の普及を進めるため、先進的環境技術の環境保全効果等を第三者が客観的に実証する事業を平成 20 年度から「環境技術実証事業」として本格実施しております（平成 15 年度より 5 カ年間、試行的に行う「環境技術実証モデル事業」を実施。）。

本調査は、平成 19 年度以降に「環境技術実証モデル事業」及び「環境技術実証事業」に実証申請いただいた企業または団体を対象に実施するものです。

本調査は、これまでの事業の実施状況・成果を評価し、環境技術実証の実施手法及び体制を改善することを目的として実施いたします。調査結果を分析し、今後の事業実施へ反映いたします。環境技術実証事業の改善のため、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

実施方法

- 回答期限：平成 23 年 9 月 9 日（金）
- 実施主体：環境省 総合環境政策局 環境研究技術室（担当：武部、金子）
TEL：03-3581-3351（内線：6244）
E-mail：etv@env.go.jp
- 回答上の注意：
 - ① 上記回答期限までに、メールにて etv-survey@mri.co.jp 宛てにご回答下さい。郵送や FAX にてご回答をご希望される場合は事前にご一報ください。
 - ② このアンケートは、貴社の考えをおたずねするものです。考えを集約しきれない場合は、回答者（貴社の担当者として）考えでお答えいただいても構いません。
 - ③ 調査の結果は、個別の回答者が分からないように集計・とりまとめを行った上で、環境省の関連検討委員会等の資料として使用されます（一部公開資料となります）ので、ご了承ください。
 - ④ 各質問の指示に従って、あてはまる番号を記入してください。自由回答欄については、できるだけ具体的にご記入ください。

【本調査の回答送付先・調査内容に関するお問い合わせ先】

(株) 三菱総合研究所 環境・エネルギー研究本部（担当：水上、長谷川）

〒100-8141 東京都千代田区永田町 2-10-3

TEL：03-6705-5713、FAX：03-5157-2146 E-mail：etv-survey@mri.co.jp

- ご回答内容に関し、お問い合わせする場合がございますので、ご了承ください。
- 本調査票は、環境技術実証モデル事業及び環境技術実証事業に申請いただいた企業や団体に、お送りしています。

1 基本情報

貴社の基本情報を記入して下さい

企業・団体名		
業種*	番号	1.メーカー（自社開発） 2.メーカー（他社品） 3. 商社・流通 4.その他（ ）
実証対象技術分野	※複数の技術分野において、ご参加いただいている場合は、調査票を複数用意しておりますので、分野別にご回答ください。	
実証済技術 (実証番号)	※実証済技術の名称と実証番号を記載して下さい。 ※申請技術が複数ある場合は全てご記載ください。 ※既に生産・販売中止している技術についてはその旨ご記載ください。	

*ご回答いただく方の所属される企業の業種について、番号をご記入ください。

ご回答者の基本情報を記入して下さい

所属（所在地）	例）〇〇事業所△△部門□□課 （神奈川県●●市××・・・）	
回答者名／ 役職名	／	
職種*	番号	1.開発・研究 2.営業・販売 3.事務・経理 4.企画・マーケティング 5.仕入・購買 6.広報・宣伝 7.その他（ ）
企業内における 本事業との関係*	番号	1. 実証申請担当者 2. 実証申請担当部署に所属 3. 担当部署に所属していない 4.その他（ ）
電話番号／ FAX 番号	TEL:	
	FAX:	
メールアドレス	@	

*最も近い内容の番号をご記入ください。

**2 貴社が環境技術実証事業（平成 19 年度以前の環境技術実証モデル事業を含みま
す、以下「ETV」と標記いたします。）へ参画した背景と、その効果についてお
伺いします。**

問 1 貴社が、ETV に実証を申請した理由についてご回答ください。（○印はいくつでも可）

記入欄	項目
	1. 公的機関の関与により自社技術の信頼性を向上させるため
	2. 公的機関等による導入に際して、機能を実証する必要があったため
	3. 自社技術の改善等に役立てたかったため
	4. 金銭的な支援（補助金・助成金）が得られるため
	5. 技術・製品の PR・拡販になるため
	6. 自社の認知度・知名度の向上になるため
	7. 技術開発に役立つ知見を得るため
	8. 国（環境省）が実施する事業だから
	9. ETV ロゴマークを表示することができるから
	10. その他（ ）

※上のように回答された理由について、補足すべき点がございましたら、できるだけ具体的にお
答えください。

**問 2 貴社では、ETV に申請し、実証されたことで、期待通りの成果が得られましたか。
（○印は 1 つだけ）**

記入欄	項目
	1. 負担した費用に対し、期待以上の成果を得ることができた
	2. 負担した費用に対し、期待通りに、十分な成果を得ることができた
	3. 負担した費用に対し、期待通りではないが、ほぼ成果を得ることができた
	4. 負担した費用に対し、期待通りではなく、十分な成果が得られたとはいえない
	5. 現時点では成果があったとも無かったともいえない・わからない

※上のように回答された理由について、できるだけ具体的にお答えください。

問3 貴社では、ETVで実証を行った技術またはその関連製品について、実証試験結果報告書やロゴマークを記者が活用することで、問い合わせや売上の向上の実績があるでしょうか。
(○印は1つだけ)

記入欄	項目
	1. 実証後、技術に対する問い合わせが増えた
	2. 実証後、技術に対する問い合わせは特に増えていない

※上のように回答された理由について、できるだけ具体的にお答えください。

問4 [問3]において問い合わせ数の増加や売上の向上があると回答された方におたずねします。
問い合わせや売上の向上については、貴社の技術力、営業努力によるところが大きいと思いますが、本事業に関することで、貢献した要因はなんでしょうか(○印はいくつでも可)。

記入欄	項目
	1. 報道発表・環境省 ETV ウェブサイト
	2. 実証試験結果報告書
	3. ETV ロゴマーク
	4. 学会・シンポジウム等における ETV の出展
	5. その他 ()

問5 ETVで実証された技術またはその関連製品の購入者はどのような方でしょうか。
(○印はいくつでも可)

記入欄	項目
	1. 国または地方公共団体
	2. 民間企業
	3. 一般市民
	4. その他 ()

※上で回答された購入者の詳細について、地域、業種、事業所の種類(工場、ビル、等)、購入者の属性(工場の管理者、事務職、等)などご回答いただける範囲で、具体的にお答えください。

問6 貴社では、ETVで実証を行ったことで販売促進や技術開発等の貴社の活動全般にどの程度の効果がありましたか。(○印は1つだけ)

記入欄	項目
	1. 大いにあった
	2. ある程度あった
	3. あまり効果はなかった
	4. ほとんど効果はなかった
	5. 全く効果はなかった
	6. わからない

※上のように回答された理由についてお答えください。特に、1あるいは2と回答された方は、どのような効果があったかについて、可能な範囲で具体的な事例を含めてお答えください。

問7 貴社が、ETVへの申請や試験の実施等に要した費用(自社で最終的に負担した額)はいくらくらいですか(複数の技術を行っている場合は1技術の平均を回答ください)。

技術： _____	万円
-----------	----

※上で回答した費用の簡単な内訳について、可能な範囲でお答え下さい。

装置持込、設置、撤去費用	万円
燃料・電力等、消耗品費用	万円
廃棄物処理費用	万円
人件費	万円
出張旅費	万円
手数料(手数料徴収体制で実証された場合)	万円
その他()	万円

問 8 問 7 の費用について、どのようにお考えでしょうか。（○印は 1 つだけ）

記入欄	項目
	1. 実証試験前に想定していた費用より低額であった
	2. 妥当であった
	3. 実証試験前に想定していた費用より高額であった
	4. わからない

※上のように回答された理由についてお答えください。特に、1 あるいは 3 と回答された方は、具体的にどの項目に要した費用が当初の想定と比較して異なっていたかをお答えください。

問 9 貴社では、ETV により得られた実証試験結果報告書を、技術の販売や営業活動等にどのように活用していますか、あるいは今後、どのように活用していきますか。（○印はいくつでも可）

記入欄	項目
	1. 実証結果報告書の客先への配布
	2. 自社カタログやウェブサイト等への掲載
	3. イベントや展示会で PR
	4. 特に説明する予定なし（理由： ）
	5. その他（ ）

問 10 貴社では、ETV により得られた実証試験結果を、技術改良や新技術の開発等に、どのように活用していますか、あるいは今後、どのように活用していきますか。（○印はいくつでも可）

記入欄	項目
	1. 設計負荷の許容判断の基礎データとして活用
	2. 改良すべき技術課題の発見
	3. 関連商品の開発
	4. 自社内の技術検証手法への取り入れ
	5. 特に活用していない
	6. その他（ ）

問 11 実証試験終了後に公表される実証試験結果報告書について、改善すべき点があれば何かありましたら、自由にご回答ください。

3 ETVに関する情報発信・広報についてお伺いします。

問 12 環境省では、ETVにより実証された技術を普及させるため、ウェブサイト（<http://www.env.go.jp/policy/etv/>）において、実証試験結果報告書などを掲載し、実証済み技術や本事業に関する情報を提供しています。貴社では、このウェブサイトについて、どのようにお考えでしょうか。（○印は1つだけ）

記入欄	項目
	1. 情報が十分に掲載されており、わかりやすい
	2. 必要な情報がどこに掲載されているかわかりづらい構成になっている
	3. 情報が不十分である
	4. その他（ ）

※上のように回答された理由についてお答え下さい。特に、「2」または「3」と回答された方は、ウェブサイト構成上の問題点や、不足している情報（コンテンツ）について、その内容を具体的にご指摘ください。

問 13 環境省では、環境技術実証事業の紹介と実証された技術を普及のために、実証試験結果報告書の概要を一覧的に紹介するパンフレット（通称：実証冊子）を、技術分野別に作成し、ウェブサイトに掲載しております。貴社では、このパンフレットをどのように活用していますか、あるいは今後、どのように活用していきますか。（○印は1つだけ）

記入欄	項目
	1. 現在パンフレット（実証冊子）を利用している、または利用予定である
	2. 現在パンフレット（実証冊子）を利用していないが、構成や内容が改善されれば利用したい
	3. 現在パンフレット（実証冊子）を利用しておらず、今後も使う予定はない
	4. パンフレットがあることを知らなかった
	5. その他（ ）

※実際に活用している、または活用予定の場合はその用途（例：実証事業についての確認、他社技術との比較、営業活動、等）を、活用していない場合はその理由（例：ページ数が多く使いづらい、入手方法がわからない、等）を、具体的にご指摘ください。

問 14 環境省では、ETV を一般に広く普及させることを目的とする「環境技術実証事業ロゴマーク」を定めています。このロゴマークは、ETV を一般に紹介するために使用できるほか、実証済み技術の紹介等のために使用することができます。貴社では、ロゴマークの利用について、どのようにお考えでしょうか。（○印は1つだけ）

記入欄	項目
	1. 現在ロゴマークを利用している
	2. 現在ロゴマークは利用していないが、今後は利用する予定である
	3. 現在ロゴマークは利用しておらず、今後も利用する予定はない
	4. ロゴマークがあることを知らなかった
	5. その他（ ）

※上のように回答された理由についてお答え下さい。また、ロゴマークを使用するに当たっての問題点があれば、具体的にご指摘ください。

問 15 [問 14] において「1」または「2」と回答された方におたずねします。貴社では、ロゴマークをどのように活用していますか、あるいは今後、どのように活用していきますか。（○印はいくつでも可）

記入欄	項目
	1. 実際の製品やパッケージに貼る
	2. 製品のパンフレット、技術報告、外部向け冊子、社員の名刺などに掲載
	3. 製品紹介やプレスリリースなど自社のウェブサイトに掲載
	4. 販売代理店や施工業者等の取引先の媒体（WEB ページやカタログ）に掲載を依頼している
	5. その他（ ）

問 16 環境省ではこれまで、エコプロダクツ展などの環境展示会に出展し、ETV と実証済み技術について広く一般に情報を提供してきました。また、個別の技術分野においても、シンポジウムや学会などで、関係者に実証済み技術が紹介されています。貴社では、このようや環境展示会等への ETV の出展やシンポジウム等の開催について、どのようにお考えでしょうか。（自由記述）

※これまで参加したことがある ETV 関連の展示会やシンポジウム等があれば、その効果と問題点についてご指摘ください。また、今後 ETV を出展してもらいたい展示会や、開催してもらいたい ETV 関連のイベントがあれば、自由にご回答ください。

問 17 これまで環境省が実施している ETV に関する情報発信以外に、実施してもらいたいと貴社が考える情報発信があれば、ご回答ください。（自由記述）

※これまで参加したことがある ETV 関連の展示会やシンポジウム等があれば、その効果と問題点についてご指摘ください。また、今後 ETV を出展してもらいたい展示会や、開催してもらいたい ETV 関連のイベント、掲載して欲しい業界専門誌等の広告媒体があれば、自由にご回答ください。

4 ETV の実施方法・体制についてお伺いします。

問 18 ETV の実施方法や実施体制について、改善すべき点があれば何かありましたら、ご回答ください。（○印はいくつでも可）

記入欄	項目
	1. 実施スケジュールについて改善した方がよい
	2. 申請書の提出等、実証に関する諸手続きについて改善した方がよい
	3. 実証費用について改善した方がよい
	4. 実証試験要領について改善した方がよい
	5. 実証項目について改善した方がよい
	6. 実証の方法について改善した方がよい
	7. 公開方法について改善した方がよい
	8. その他（ ）
	9. 実施方法や実施体制について特に問題はない

※上のように回答された理由についてお答え下さい。

5 その他

問 19 今後も引き続き本事業に申請したいと思いませんか。ETV ではこれまで取り扱っていない技術も含め、ご回答ください。（○印はいくつでも可）

※これまで ETV で対象となった技術は、「小規模事業場向け有機性排水処理技術」、「自然地域トイレし尿処理技術」、「化学物質に関する簡易モニタリング技術」、「地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム」、「建築物外皮による空調負荷低減等技術」、「空冷室外機から発生する顕熱抑制技術」、「VOC 簡易測定技術」、「VOC 処理技術」、「非金属元素排水処理技術分野（ほう素等排水処理技術）」、「湖沼等水質浄化技術分野」、「閉鎖性海域における水環境改善技術分野」です。詳しくは ETV のウェブサイトをご覧ください。

記入欄	項目
	1. 今回申請した技術分野で引き続き実証に申請したい
	2. 今回申請した技術分野とは異なる技術分野で実証に申請したい
	3. これまで ETV で実証されていない技術分野の技術・製品を実証してもらいたい
	4. 今後は特に実証を申請する予定はない

※上で「1.」を選択した方は、申請を考えている件数を以下にご回答ください。

※上で「2.」または「3.」を選択した方は、具体的な技術の種類を以下にご回答ください。

問 20 ETV について「実証」の意味が十分に理解されておらず、誤った情報発信がなされている事例があります。貴社内や貴社外（販売代理店、施行業者、エンドユーザー等）において、「実証」の意味は十分に理解されていますでしょうか。（各欄、○印は1つだけ）

※本実証事業において「実証」とは、環境技術の開発者でも利用者でもない第三者機関が、環境技術の環境保全効果、副次的な環境影響、その他環境の観点から重要な性能（以下、「環境保全効果等」という。）を試験等に基づき客観的なデータとして示すことをいう。「実証」は、一定の判断基準を設けて、この基準に対する適合性を判定する「認証」とは異なるものである。

記入欄	項目
	1. 社内では理解されている
	2. 社内での理解は進んでいると思うが、完全に把握されていない
	3. 社内では理解されていない

	1. 社外では理解されている
	2. 社外での理解は進んでいると思うが、完全に把握されていない
	3. 社外では理解されていない

※上で「理解されていない」を選択された方は、どのようにすれば理解が進むと思いませんか。ご提案があればご記入をお願いします。

問 21 その他、ETV に対して、ご意見、ご要望がございましたら、自由にお答えください。



アンケートは以上で終了です。

ご多忙の中お時間を割いていただき、また真摯なご回答にご協力いただき誠にありがとうございました。